



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年4月2日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



かつてガンジーが演説した場所にある学校

ガンジー暗殺から75年 インドの今

2日(日)=1、3面

インド独立の父、マハトマ・ガンジー。非暴力・不服従を訴えて英国からの独立運動を主導した彼は敬虔なヒンズー教徒でしたが、多数派のヒンズー教徒と少数派のイスラム教徒などとの融和と共存

を目指しました。しかし、そんなガンジーを「イスラム教徒寄り」と捉えるヒンズー教過激派もあり、1948年に暗殺されました。ガンジーが凶弾に倒れて今年で75年。インドでは近年、ヒンズー

教徒とイスラム教徒の衝突などが相次ぐ事態となっています。ガンジーの「夢」の先、新興大国インドで今何が起きているのか。現状と人々の思いを探ります。

日中外相会談の行方は

3日(月)=1、2面

林芳正外相が2日、訪問先の中国・北京で秦剛外相と会談します。日本の外相の訪中は2019年12月以来、約3年3カ月ぶりです。沖縄県・尖閣諸島＝写真＝周辺での中国公船による領海侵入など課題が山積する中、林

氏が日中関係の安定化に向けてどんな成果を上げられるかが焦点となります。林氏は3月に中国で拘束された日本企業幹部の50代男性の早期解放を強く求める方針で、中国側の反応が注目されます。ウクライナ情

勢を巡り、ロシアとの連携を強める中国側とどのようなやり取りをしたのかも探っていきます。



特集ワイド 「チャットGPT」をお試し

AI(人工知能)を用いた対話型の自動応答ソフト「Chat GPT(チャットGPT)」が評判です。昨年11月に公開され、利用者は世界中ですでに1億人以上といわれます。論文やニュースの要約、議事録作りなどにも利用

できる便利さが注目される半面、内容に間違いが多いなどの指摘もあります。記者の「お試し」体験を交えて、チャットGPTの使い方や将来の可能性について専門家と一緒に考えました。

4日(火) 11夕刊特集ワイド

海外へ「出稼ぎ」する若者 5日(水)=オピニオン面

新型コロナウイルスの感染拡大による各国の出入国の規制が緩和され、ワーキングホリデーなどを利用して海外に働きに出る若者が増えています。背景には、日本社会の閉塞感や先進国に比べて低い賃金などの問題も見え隠れします。

アジアなどから多くの人々が日本に出稼ぎに来るのは少し前まで当たり前だった光景でしたが、今や逆転現象が起きつつあるかのようです。なぜ若者は「出稼ぎ」に行くのか。日本への影響も探ります。

新年度に入り、満開の桜を眺めながら心持ちを新たにしているご家族も多いのではないのでしょうか。毎日小学生新聞では「ご入学・ご進級応援キャンペーン」を5月25日まで実施しています。毎小は、子どもが理解できるように、うにかみくだいて、実は大分、人が読んで分かります。おうちでの家族の会話も弾みますので、QRからどうぞ。(都築葵)



編集後記

